

ルイ・ヴィトン
メンズ・コレクション by ヴァージル・アブロー
2021 春夏プレコレクション

ニュアンス：平静、スタイル、優雅さを通じてヴァージル・アブローが解釈する人道的な価値観を伝える言葉。皮肉のようなニュアンスは解釈し難いことも。

ルイ・ヴィトン メンズ・アーティスティック ディレクター ヴァージル・アブローとして、新たな章の幕開けの準備が完了——時代を反映した流行が姿を現している今、当たり前なことを再評価し、その価値を見直します。2021 春夏プレコレクションにおいてヴァージル・アブローは、メンズ・ウェアにおけるプレコレクションの在り方を再解釈し表現。ルイ・ヴィトンのためにデザインされた服やアクセサリーは、ニュアンスのチャンネルを介して多様性、団結、包括的な要素を伝達する役割を果たします。

LOUIS VUITTON

ヴァージル・アブローは、生まれ育ったコミュニティの視覚的言語を通してラグジュアリーを語ります。それらは、包括性を表すシンボルに精鋭なコードを再度割り当てることによって実現。流行を超越したタイムレスなコレクションにより、従来の価値観に囚われない定番的なワードローブが生まれます。ヴァージル・アブローが提案するのは、意識的にも物質的にも持続するようにデザインされた流行なのです。

それぞれのスタイルが主役となる期間は、時間の経過によって定義されます。流行を判断する上で、前進するにはまず過去を振り返る必要があります。ここで再評価のための手段となるのが、プレコレクションなのです。メゾンの意図を幅広い層の心に響くものにするにはどうすべきか——これこそが 2021 春夏プレコレクションの出発点です。本コレクションは、日々のワードローブに求められる天候を意識した要素にフォーカスし、寒い時期に発売されることを踏まえ、真冬を彷彿させるダークカラーのパレットを提案。モノグラム・フラワーを基にしたタイムレスなデザインが、赤いシアリングジャケットに刺繍されたり、グリーンのジレにキルティングされたり、またはダブルフェイスコートのライニングに用いられたり、コレクション全体を通して登場します。そしてカモフラージュを彷彿させるモノグラム・リーフがジャカード織のトラウザーやデニムトラウザー、ウィンドブレーカーに描かれています。

丸みのあるカッティングを施したトラディショナルなスーツや、ワークウェア、パジャマの古典的なイメージの境界を曖昧にする新たなテーラリングなど、フォーマルの概念が新たに変容しています。IV イニシャルが主役のインターシャセーターは、耐久性のあるケーブルニットにオマーージュを捧げたもの。Tシャツには、ニットの編み方が書かれたプリントが施されています。冬から夏への移ろいを反映するかのようにモノグラム・モチーフから滲み出る軽やかさ——マルチパステル・クレヨンで描かれたモノグラム・モチーフは、メゾン本社にあるヴァージル・アブローのオフィスに置かれたデスクトップのデボス加工された IV イニシャルからインスパイアされたデザイン。レインハットやベレー帽 は、象徴と所属意識の自由の扉を開き、コレクションの本質に浸透するストーリーとなります。

本コレクションでは、半透明の衝撃吸収ソールを備えた新作スニーカーが登場。スエードとメッシュでアップデートした「IV ランナー」に加え、冬仕様の堅牢なダービーやチェルシーブーツも展開します。キャンバス素材の「キーポール」や小ぶりのバッグには、2020 秋冬コレクションのパステルプリントから着想を得た、モノグラム・パステルをデザイン。「トランク・メッセンジャー」や「ディスカバリー・バックパック」、「ディスカバリー・バムバッグ」には、同デザインのブラックバージョンを採用。さらに、さまざまなデザインで登場するデニムのバッグには、モノグラム・モチーフとタペストリー・パターンが融合。クラシカルなトリヨングレインレザーも新たな解釈でアップデートされています。マクロサイズの「モノグラム」を配したブループリントが、ブラックのフライトケース、「アルマンド・バックパック」、「カバヴォワヤージュ」、「ディスカバリー・バムバッグ」を彩ります。

ルイ・ヴィトンについて

1854年の創業以来、ルイ・ヴィトンは、革新とスタイルを組み合わせた独自のデザインを常に最高級な品質で提供し続けています。

現在もトラベルラゲージ、バッグ、アクセサリなどの製品を通じて、クリエイティブでありながらエレガントで実用的という、創業者ルイ・ヴィトンが生み出した「旅の真髄(こころ)」という精神を忠実に受け継いでいます。

ルイ・ヴィトンというストーリーを作り上げたのは「大胆さ」でした。伝統を重んじ、歴史の中で建築家、アーティスト、デザイナーに門戸を開き、ブレタポルテ、シューズ、アクセサリ、ウォッチ&ファインジュエリー、フレグランスなどの分野を開拓してきたのです。これらの丁寧な製作された製品は、ルイ・ヴィトンがクラフツマンシップにいかにかこだわりを持ってきたかという証となっています。

詳細は、ルイ・ヴィトン 公式サイト www.louisvuitton.com をご覧ください。